

理事会の陰謀を粉碎し、和泉で団交用かれる!

○月26日、法人理事会は、7月における我々学生との約束「学費値上げ決定以前に学生と話し合う」を實質的に破棄しようとして、武田総長を筆頭とする理事会は、各学部長兼等に於て自らの胸で管内を固め、さらに学費値上げの具体化のため、26日和泉2日生田、28日は本校で、管内取組の説得、定みみのスケジュールを組んだ。

暴露された無責任

団交の席上、7月2日の団交を追求された、全々の部費使役を暴露し、参加した学友も今までの学費値上げの決定及び結果を評議員、ヒンシユクを買った。これは今もなお、一切の権限を理事会の手に託すに理事会の独断をなされてきたこと、その奇付行為違反について、その台の至過におさめ、独裁を行なおうとする事かあらわらについては、「そんなことは興味ない」と、出ている。

「学生は黙っている」と暴露

さらに学生と話す気が存る否及びの問に、た。学生の至著負担がどうなろうと、マス、対し、「君らは我々の教育方針を認めて明治、フ口であらうと、教室での対話決断を叫びに入っているはずだ。我々の教育、至著方針、ようとも、学生はだまっ、てついて、いどの理には従うべさだ」との暴言。学生の声を聴き、理事会の態度に、タマツテついては行けないだく耳きたぬ、との理事会の本音をついに吐く。ろろ。行かないだろう。

日生田団交を勝ち取り、理事会を叫弾しよう!

1時、学生会館前よりバス出発

本日、我々の申し込んだ団交を全く無視し、友まき二み、父兄へのお返しを返った今、最た理事会は、生田分校へ取組説得のために向、后の仕上げである。皆反詰、理事会の野望、この二種の学費値上げへの布石は、夜、と、一、阻止し、学費値上げを阻止しよう、

法学部二年生斗争委員会準備会発足

法学部二年生斗争委員会準備会は、約二十名の結集で準備会は発足した。法学部の学生は三斗雲に結集しよう。

9129 (核)